

文献発表

2014 春 薫谷郁美研究会 安田峻

書名：スポーツゼロ年代—激動の10年を追って

出版：毎日新聞運動部

発刊：2010年7月26日

目次

第一章 クラブ・リーグ・地域

- 1 進むクラブ化と外国クラブの今
- 2 相次ぐ新リーグの発足
- 3 地域スポーツの模索

第二章 各スポーツの取り組み

- 1 ラグビー新時代
- 2 陸上界の試行錯誤
- 3 動くテニス界
- 4 Jリーグだけじゃない
- 5 団体競技の取り組み
- 6 対人競技、それぞれの課題

第三章 プロスポーツ・ビジネス

- 1 国内外からみる野球界
- 2 Jリーグと米国サッカー
- 3 格闘技の興業、ゴルフ界の潮流

第四章 大学スポーツの変貌

第五章 スポーツ界の「かたち」

- 1 強化策
- 2 緑のグラウンド
- 3 女性とスポーツ
- 4 国体が変わる
- 5 セカンドキャリア、競技生活支援
- 6 浮沈激しいサッカーくじ
- 7 スポーツ行政、紛争、反ドーピング
- 8 揺らぐ審判の権威、教育の価値

あとがき

<個人研究への参考>

この書籍では、各スポーツが集客や競技力向上のために行ってきた施策やその結果、現在抱えている課題などが紹介されている。私の個人研究は、なぜアイスホッケー観戦者は少ないのか？→アイスホッケー界の集客施策に問題があるのではないか？という問題意識に基づくものであり、この書籍で他競技の集客モデルや実態について学び、アイスホッケー界で行われている施策と対比して考察を進めたいと考えている。

また、この書籍では、まだ今日のような人気が無かったJリーグ創世記の時代の取り組みや、野球やサッカーと比べて決して人気があるとは言えない格闘技やフットサル界での取り組みにも言及しており、私の研究対象であるアイスホッケー界の取り組みについて考える上で通じる部分があるのではないかと思っている。